評価シート例（年度評価）

名古屋市農業センターの管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者	未来農業共同事業体		
主な業務内容	名古屋市農業センターの管理運営業務		
評価対象期間	令和5年4月～令和6年3月	指定管理期間	令和5年4月～令和15年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項	
管理体制	1	管理体制	適切な職員配置	○	市や関係機関への迅速な報告があるなど、事故発生時の体制が評価できた。
			緊急時の体制	◎	
			人材育成	○	
	2	協働	市民等との協働	○	
維持・管理運営等	1	維持管理	園内清掃	○	植物管理に関して、一部手薄になっていると思われる部分があった。
			建物・設備の管理	○	
			保守・点検・修繕	○	
			植物管理	△	
			管理水準の維持	○	
			関係書類の調製・保管	○	
	2	運営管理	利用者アンケートの実施	○	イベント時だけでなく、常時利用者ニーズを把握するよう努める必要がある。
			利用者ニーズの把握と反映	△	
			利用者サービスの向上策	◎	
			接客・接客向上の取組	○	
			苦情・要望に対する適切な処理	○	
			個人情報の適切な管理	○	
	3	この施設特有の管理	「農」に関する取組み	○	指定管理者独自の企画イベントを多数実施した。
			畜産業務に関する取組み	○	
4	魅力増進・利用促進	魅力の増進策	○	講習会等に関しては実施回数が少なかった。	
		イベント等の実施	◎		
		講習会等の実施	△		
		利用者への広報・情報提供の実施	○		
		利用者数の増加	○		
自主事業	1	自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○	自主事業により、新たな魅力増進に努めた。
			集客対策への効果	◎	
			自主事業の収支及び還元	△	
			便益施設の管理運営	○	
収支	1	収支	経費節減策	○	自主事業の収支が計画より悪化し、還元金が大幅に減少した。
			年間収支	○	
その他	1	その他	法令・協定の遵守	○	
			事業計画との比較分析	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等

<評価点>

- ・指定管理移行初年度ではあるが、緊急時の連絡体制など、確実な体制が取られていた。
- ・イベントや広報、しだれ梅まつり時のシャトルバスの運行などが積極的に実施されていた。

<改善点>

- ・植物管理の面で改善すべき点が見られた。
- ・講習会の実施回数を増やす必要がある。
- ・自主事業収支が想定よりも悪化したことで、還元金が大幅減となったことから、改善を図る必要がある。
- ・平日も含めアンケート等で来園者の満足度を調査する必要がある。

施設の現状

名古屋市農業センター

施設の現状	施設概要							
	<p>「野菜と家畜」をテーマにした農業公園であり、農業に親しむ機会の少なくなった市民に、農業に親しみながらゆったりと憩うことを目的とした施設です。また、名古屋コーチンの普及啓発や、伝統野菜の伝承などの役割を果たしています。</p> <p>令和5年度からの指定期間については、魅力ある施設とするための民間投資を行いやすく、また、安定的なサービスの提供を期待できると考え、10年としています。</p>							
	市の収支状況(千円) (5年度決算(見込)額)							利用料金
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	150,000	0	150,000	1,771	171	148,058	150,000	20,281
	特記事項							
	令和4年度までは直営だったが、令和5年度からは指定管理者制度を導入している。							
	管理運営指標の状況	取組状況						
		指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
入園者数		人	336,922	340,058	261,278	235,776		
特記事項								
令和5年度は、リニューアル整備のため10月上旬まで全面閉園。10月上旬から一部開園後、引き続きリニューアル整備を行い、令和6年3月23日に全面リニューアルオープンした。								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載